

**金属加工科修了 (2018年)**

あべしょうま  
**阿部 翔真さん**  
株式会社サワ 宮城工場

溶接工として汗を流す父親の影響から「ものづくりの仕事もいいな」と思っていた阿部翔真さん。石巻北高等学校飯野川校の普通科を卒業し、石巻高等技術専門学校の金属加工科で本格的にものづくりを学ぶことにした。

「見るものふれるものすべてが初めての経験で、新鮮で楽しかった」と振り返る阿部さん。特にNC旋盤を使った機械加工に夢中になり、同校を修了後、株式会社サワ宮城工場に就職した。

半導体製造装置の部品加工などを手掛ける同社で、入社初日からNC旋盤を操った。「とてもドキドキしましたが、学校で実践を想定した訓練をしてきたので、スムーズに仕事をすることができました」と振り返る。

「高等技術専門学校が機械加工やものづくりの面白さを教えてくれました」と阿部さんは語る。「NC旋盤以外のマシンも触ってみたい。そして、いろいろなものを作ってみたいです」。その表情は向上心に満ちていた。

**株式会社サワ 宮城工場**

東松島市川下字内響 131-85  
TEL 0225-98-3237  
<http://sawa-net.com/>



**石巻高等技術専門学校**

県内の産業界が求める  
**金属加工の即戦力を育成**

「金属加工科」では、機械加工、溶接板金加工といったものづくりの全般的な知識・技能を1年間かけて習得します。各種工作機械・手仕上げ工具を用いた簡単な産業用機械部品の製作をはじめ、各種溶接板金、塗装、仕上げの作業について訓練を行います。

これら金属加工技術は、小型電子部品や自動車、鋼橋など様々なものづくりに応用されており、中でも機械加工は、自動車産業や高度電子機械産業の集積が進む県内の産業界から高いニーズがあります。

そこで、同校では汎用旋盤や汎用フライス盤で機械加工の基本を学ぶほか、NC旋盤やマシニングセンターといった実際の製造現場で主力を担う工作機械を使った訓練も行い、即戦力として活躍できる人材を育成しています。

地元企業との連携と手厚い就職支援で  
**高い就職内定率をキープ**

工作機械の取り扱いのほかに各種工具・測定機器の名前や使用方法、安全管理などについても知識を深めます。さらに、就職への心構えや社会人としての基本マナーを学ぶため外部講師によるセミナーを実施するほか、企業訪問への個別対応などのサポートも行っていきます。地元を中心に企業との密な連携を図り、3年連続で就職率100パーセントの実績をあげています。

同校では、2年課程の自動車整備科と、1年課程の金属加工科、木工科、6カ月課程の溶接科、配管科を設置しています。

毎年2月には「技能ふれあい祭り」を開催し、訓練生が製作した木工家具や金属製品の展示販売を行っています。自分が作った物が売れる喜びを直接感じることで、ものづくりのやりがいや育む良い機会となっています。



①汎用フライス盤で機械加工を学ぶ金属加工科の訓練生。②入力したデータをもとにマシニングセンターが自動で金属を加工する様子を確認する訓練生

**宮城県立 石巻高等技術専門学校**

石巻市門脇字青葉西 27-1  
TEL 0225-22-1719  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kougi/>



**大崎高等技術専門学校**

私たちの生活を支える  
**電気工事のスペシャリストを養成**

「電気科」では、住宅やビル・工場などの電気設備工事に必要な専門的な知識・技術を学びます。屋内配線工事の基礎から保守点検に関する技術のほか、電気設備を動かすために必要な「シーケンス制御」についても学習し、即戦力となる技能者の育成を目指します。

同校は、経済産業大臣から電気工事士養成施設の指定を受けており、1年間の課程を修了と同時に、一般住宅や小規模な店舗などの電気設備工事ができる「第二種電気工事士」の資格が取得できます。工場やビルといった、さらに大きな電気設備工事ができる「第一種電気工事士」についても、在学中の資格試験合格を目指します。

このほか、「高所作業車運転技能講習」や「玉掛け技能講習」など、現場作業で求められる様々な資格を取得します。

多くの電気工事会社の社長を輩出  
**継続採用で就職率100パーセント**

電気設備工事の仕事は、屋内電気設備をはじめ、送配電分野や消防設備、鉄道など幅広い分野が必要とされているため、修了後の就職先が数多くあるのが魅力です。同校の修了生の中には、大手電力会社や電気通信会社の協力企業に就職し、活躍している人もいます。

また修了生には、県内の電気工事会社の経営者も多く、地元企業との密なネットワークを生かした継続採用が実現。ここ数年にわたり就職率100パーセントが続いています。

電気科のほかに同校では、木造建築の技能習得を目指す2年課程の「木の家のづくり科」もあります。現代工法や伝統工法による模擬家屋の製作などを通して、木の家づくり全般についてじっくり学び、現場力を養成します。



①電気設備工事について学ぶ電気科の訓練生。実践を通して電線接続や配管の加工など技能を習得する。②デモ機を使ってシーケンス制御の仕組みとプログラミングについて学ぶ訓練生

**宮城県立 大崎高等技術専門学校**

大崎市古川米倉字上屋敷 51  
TEL 0229-22-1357  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oskogi/>



**電気科修了 (2017年)**

たむらゆうま  
**田村 優真さん**  
株式会社共振

「同じ建築現場で一緒に仕事ができるかもね」。大工だった父に語った夢がきっかけで、田村優真さんは電気工事士になる道を選んだという。

高校3年生の夏、大崎高等技術専門学校のオープンキャンパスで知った配線の仕組みや、疑似体験した電気工事がとにかく面白かった。「ここで技術や知識を身に付けたい」と、田村さんは松山高等学校（大崎市）を卒業後に同校の電気科へ進んだ。

「少人数の訓練で先生との距離も近く、1年間楽しく学ぶことができました」と振り返る田村さんは、修了後に株式会社共振に就職。電柱の昇り降りや、高所作業車や小型クレーンを使った作業など、在学中に学んだ技術や取得した資格がすぐに役に立ったという。

「建築現場でお客様からいただく感謝やねぎらいの声や、毎日の仕事のモチベーションにつながっています」と話す田村さんは、気概に満ちた表情を浮かべた。

**株式会社共振**

大崎市古川千手寺町 1-5-33  
TEL 0229-22-1967

